

年間指導計画(シラバス)

令和4年度 商業科



SHINMINATO HIGH SCHOOL

富山県立新湊高等学校

令和4年（2022年）度 年間授業計画表

学年	1	科・系	商業科	単位	2	教科	国語	科目	現代の国語	
学習教材	現代の国語（大修館書店）									
学習目標	(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけることができる。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりできる。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わることができる。									
単元と内容										
1 学期	「白紙」 「伝える・伝え合う」 「水の東西」 「伝わるように話す」 「わかりやすく書く」 「発想を広げる」 「意見を書く」 「論理をとらえる」 「工夫して話す」	<ul style="list-style-type: none"> ・相手や目的に応じた語句や文体の使い方を身につける。 ・具体例の役割や対比の関係をとらえ、文章の要点を的確につかむ。 ・話し言葉の特徴をふまえて話したり、聞き手が理解しやすい説明のしかたを考え、過不足なく伝えたりする。 ・「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるようにわかりやすく書く。 ・他者と意見を交流し、アイデアを出し合う。 ・構成や展開を意識し、根拠を明確にして、自分の意見を書く。 ・「動的平衡としての生物多様性」を読み、主張と根拠、理由づけの関係をとらえるとともに、文章の論理をとらえる。 ・声の強弱や話す速度、間の取り方を意識して話したり聞いたりする。 								
2 学期	「資料と文章の関係を読む」 「統計資料をもとに意見を書く」 「目的に沿った質問をする」 「状況に応じた通信文を書く」 「文章を比較して読む」 「説得力のある資料をつくる」 「資料を用いて発表する」	<ul style="list-style-type: none"> ・「インターネット時代の音楽産業」を読み、資料と文章の情報を相互に関係づけながら、情報を読み取る。 ・統計資料を正確に読み取り、読み取った情報を組み合わせたり、比較したりして、的確な主張を生み出す。 ・質問の目的を明確にし、知りたかったことへの理解を深める。 ・通信文の基本を知り、相手や場面に応じた通信文を書く。 ・「空気を読む」「『個人』から『分人』へ」を読み、複数の文章を比較し、共通点や相違点をとらえる。 ・提案を検討する際に必要な要素を押さえ、効果的な表現や資料提示のしかたを工夫する。 ・聞き手の心を動かす話し方を工夫し、資料に基づき効果的に発表する。 								
3 学期	「根拠を吟味して読む」 「討論をする」 「主体的に読む」 「結論を出すために話し合う」 「レポートを書く」	<ul style="list-style-type: none"> ・「言語についての新しい認識」を読み、文章中の根拠や引用に注目し、その妥当性や信頼性を吟味する。 ・討論の流れや各自の役割を理解し、考えが伝わるよう発言する。 ・文章から必要な情報を読み取り、読み取った情報を活用する。 ・結論を出すための話し合いの工夫について理解を深め、結論の出し方を工夫して話し合う。 ・適切な情報を集めて問いを立てるとともに、調べたことを根拠として、問いを解決するレポートを書く。 								
評 価										
評価の観点		到達度目標〔「B」（おおむね満足できる）の基準〕				評価のフィードバック				
						1期中	1期末	2期中	2期末	学年末
①	知識・技能	・実社会に必要な国語の知識や技能を習得している。				○	○	○	○	○
②	思考・判断・表現	・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、伝え合う力を高め、自分の思いや考えを深めることができる。				○	○	○	○	○
③	主体的に学習に取り組む態度	・授業内で自分がやるべきことを探し、粘り強く課題に取り組む。 ・授業から新たな疑問を見つけることができる。					○		○	○
評価方法	①		②			③				
	㊦定期考査 ㊧小テスト ㊨ノート点検		㊦定期考査 ㊧授業で作成した作品 （レポート、意見文など）			㊦ワンペーパーポートフォリオ ㊧ルーブリックによる相互評価 ㊨各種課題提出状況 ㊩話し合い活動への参加状況				

令和4年(2022年)度 年間授業計画表										
学年	1	科・系	商業科	単位	2	教科	地理歴史	科目	歴史総合	
学習教材	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書「歴史総合 近代から現代へ」山川出版社 ・「歴史総合資料集」山川出版社 ・「歴史総合用語解説」山川出版社 									
学習目標	(1) 生活や社会の変容について、資料から情報を読み取ったりまとめたりできる。 (2) 生活や社会の変容について、論理的に考察し、問いを表現することができる。 (3) 近現代の歴史の諸事象と現代との関わりを考え、授業から新たな疑問や課題を見つけだすことができる。									
単元と学習内容										
1学期	近代化と私たち ・結びつく世界 ・近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 ・明治維新と日本の立憲体制 ・帝国主義の展開とアジア ・近代化と現代的な諸課題	18世紀ごろのアジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係 イギリスに始まる産業革命が、世界各地の社会や経済に与えた影響とアジアと欧米の関係の変化 国民国家誕生の経緯と、国民統合の進展が人々に与えた影響 帝国主義政策が国際社会に与えた影響 産業革命に始まる工業化が人々にもたらした課題								
2学期	国際秩序の変化や大衆化と私たち ・第一次世界大戦と大衆社会 ・経済危機と第二次世界大戦 ・戦後の国際秩序と日本の改革 ・国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	第一次世界大戦開戦までの経緯とその被害 大量生産や大量消費が国民生活に与えた影響 世界恐慌とその後の各国の対応が第二次世界大戦に与えた影響 第二次世界大戦後の国際社会でおこった対立とその影響 冷戦下における日本に期待された役割 近代オリンピックにおける「平等」と「格差」の問題								
3学期	グローバル化と私たち ・冷戦と世界経済 ・グローバル化する世界 ・現代の課題 ・現代的な諸課題の形成と展望	冷戦が各国経済に与えた影響と地域紛争による課題 市場経済のグローバル化や経済自由化が世界経済に与えた影響 複雑に絡み合う現代の諸課題への対応 持続可能な社会の実現のために解決されなければならない課題								
評 価										
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の基準〕				評価のフィードバック				
						1期中	1期末	2期中	2期末	学年末
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・各時代における事実的な知識を習得し、関係図などの概念的理解と結びつけることができる。 ・資料から読み取れることなどを、他者との意見交換をとおして自分の考えに反映できる。 				○	○	○	○	○
②	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的事象のもつ意味や事象間の関係性について、知識や概念、資料を根拠に説明できる。 ・「因果関係」「視点の転換」「史料の作り手の意図や背景」「比較」などから問いを表現できる。 				○	○	○	○	○
③	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・現代世界の諸課題と近現代の歴史事象との関連を自分の言葉で説明する。 ・現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を問題意識をもって考察する。 					○		○	○
評価方法	①		②			③				
	⑦定期考査 ④小テスト ⑤ノート点検		⑦定期考査 ④課題レポート			⑦ワーカーポートフォリオ ④ルーブリックによる相互評価 ⑦各種提出状況 ⑤討論への参加状況				

令和4年(2022年)度 年間授業計画表

学年	1	科・系	商業科	単位	2	教科	数学	科目	数学 I	
学習教材	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書「最新数学 I」数研出版 ・「パラレルノート 数学 I 基本一標準 新課程 教科書傍用」数研出版 									
学習目標	<p>(1) 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする能力を身につける。</p> <p>(2) 物事を多面的に捉え、目的に応じて適切に変形する力、社会の事象などに関連付けて、論理的に考察し表現する力を養う。</p> <p>(3) 数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを活用していこうとする態度を養う。</p>									
単元と内容										
1 学期	第1章 数と式 数と式 実数 1次不等式	<ul style="list-style-type: none"> ・多項式の整理、式の展開、公式やたすき掛けを利用した因数分解を理解する。 ・実数の分類、絶対値の性質、根号を含む四則演算、分母の有理化ができる。 ・解の意味を理解して1次不等式、連立不等式を解く。絶対値の定義や性質をもとに、絶対値を含む方程式・不等式を解く。 ・集合の記号や性質の確認。命題とその逆・裏・対偶などの真偽の関係について理解する。 								
	第2章 集合と命題									
2 学期	第3章 2次関数 2次関数とグラフ 2次関数の値の変化 2次方程式と2次不等式	<ul style="list-style-type: none"> ・関数についての理解を深める。2次関数を式変形(平方完成)してグラフをかく。 ・2次関数のグラフを利用して、最大値・最小値を求める。 ・2次関数のグラフと x 軸の位置関係を利用し、2次不等式を解く。 								
3 学期	第4章 図形と計量 三角比 三角形への応用	<ul style="list-style-type: none"> ・三角比についての理解を深め、三角比の相互関係を理解する。 ・正弦定理、余弦定理、面積の公式を利用して、辺や角、面積を求める。空間図形では、空間図形の中の平面図形に着目する。 								
評 価										
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の基準〕				評価のフィードバック				
						1期中	1期末	2期中	2期末	学年末
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元における基本的な概念や原理・法則を理解している。 				○	○	○	○	○
②	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて適切に式を変形することができる。 ・事象を的確に捉えて、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察することができる。 				○	○	○	○	○
③	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の過程を振り返って考察を深め、改善しようとしている。 ・問題解決のために、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。 					○		○	○
評価方法	①		②			③				
	⑦ 定期考査 ① ノート点検	⑦ 定期考査 ① グループワーク	⑦ 各種課題提出状況 ① グループワーク ⑦ 振り返りシート ④ ノート点検							

令和4年（2022年）度 年間授業計画表									
学年	1	科・系	商業科	単位	2	教科	理科	科目	科学と人間生活
学習教材	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書「科学と人間生活」実教出版 ・ワーク「アクセスノート 科学と人間生活」実教出版 								
学習目標	<p>(1) 自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について理解し、科学的な見方や考え方ができる。</p> <p>(2) 科学技術の発展が、今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて理解できる。</p> <p>(3) これからの科学と人間生活とのかかわり方について考察できる。</p>								
単元と学習内容									
1 学 期	1章 科学と技術の発展 1節 科学と技術の始まり 2節 海一特に深海を科学の眼で見よう 3節 土一農業を通して考える 2章 物質の科学 1節 材料とその再利用	<ul style="list-style-type: none"> ・古代から現代に至る技術の発展を学習し、これからの科学や技術のあり方を考える。 ・海洋探査に関する科学技術の発展を学習し、海中の生態系や海底のプレート、海底資源の調査に関して理解する。 ・土壌とは何かを学習し、土壌の役割、土壌に生きる生物たち、肥料の利用と農業における科学技術の活用を学ぶ。 ・日常生活において使われる様々な物質について学び、物質とは何かから金属、プラスチック、セラミックスの性質と利用について学習する。 							
2 学 期	3章 生命の科学 2節 微生物とその利用 4章 光や熱の科学 1節 熱の性質とその利用 5章 宇宙や地球の科学 2節 身近な自然環境と自然災害	<ul style="list-style-type: none"> ・微生物とは何か、その発見と様々な利用に関して学習する。 ・生態系における微生物の役割とはたらきに関して学習する。 ・熱とは何か、温度との違いは何かを理解するとともに熱はエネルギーの一種であり、電気等の田のエネルギーに変換されて利用されていることを学習する。 ・身の回りの景色・景観がどのようにできたかを学習し、その原因がプレートの運動であることを学習する。 ・景観を生み出した自然現象による恵みと、災害について学習し、防災について考察する。 							
3 学 期	6章 これからの科学と人間生活	<ul style="list-style-type: none"> ・1, 2学期で学習した内容を踏まえ、これからの科学・技術のあり方について学習し考察する。 ・環境問題は多岐にわたることを学習し、持続的発展とは何かを考察し、その方策について考察する。 ・持続的発展に関する方策に関する課題を設定し、レポートの作成を通じて探究する。 							
評 価									
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準〕	評価のフィードバック						
			1期中	1期末	2期中	2期末	学年末		
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・科学・技術に関する様々な過程や知識を理解できる。 ・図やグラフの表している事象を理解できる。 	○	○	○	○	○		
②	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・データから適切なグラフや図を作成したり選択したりできる。 ・複数の資料を用いて、自分の考えたことを表現できる。 		○		○	○		
③	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な科学を自分の経験と照らし合わせて考えることができる。 	○	○	○	○	○		
評価方法	①		②			③			
	⑦定期考査 ⑧小テスト ⑨提出物		⑦定期考査 ⑧授業プリント ⑨課題レポート			⑦定期考査 ⑧課題レポート ⑨各種提出物の提出状況			

令和4年(2022年)度 年間授業計画表									
学年	1	科・系	商業科	単位	3	教科	保健体育	科目	体育
学習教材	<ul style="list-style-type: none"> ・現代高等保健体育(大修館書店) ・2022保健体育簿(富山県高体連) 								
学習目標	<p>(1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けることができる。</p> <p>(2) 自己や仲間の考えたことを他者に伝えるコミュニケーション能力の伸長を図ることができる。</p> <p>(3) 運動の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力するなどの調和のとれた豊かな人格の形成を図るとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養うことができる。</p>								
単元と内容									
1 学期	<p>体づくり運動</p> <p>以下、同じ印から選択(☆○△□)</p> <p>☆陸上競技・短距離走、リレー、ハードル走</p> <p>☆球技・バレーボール</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方などを理解するとともに、自己の体力に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てる。 ・記録の向上や競争及び課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付ける。 ・状況に応じたボール操作や連携した動きを習得するとともに、攻防をして、ゲームを展開する。 							
2 学期	<p>体づくり運動</p> <p>陸上競技・長距離走</p> <p>○球技・サッカー</p> <p>○球技・バドミントン</p> <p>○武道</p> <p>△ダンス・創作ダンス</p> <p>△器械運動・マット運動、跳び箱運動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動は1学期と同じ ・記録の向上や競争及び課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、体力の高め方、課題解決の方法などを理解するとともにペースの変化に対応して走る能力を身に付ける。 ・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって攻防をして、ゲームを展開する。 ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、各種ストローク・サービスなどの安定したシャトル操作やダブルスにおけるパートナーとの連携した動きを高めて、ゲームを展開する。 ・柔道・剣道を通し、我が国固有の伝統と文化に一層触れることができるようにするとともに、基本的技能を習得する。 ・感情を込めて踊ったり仲間と自由に踊ったりするなどの多様な楽しさや喜びを味わう。 ・回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行い、それらを構成し演技する。 							
3 学期	<p>□球技・バスケットボール</p> <p>□マット運動</p> <p>□球技・バドミントン</p> <p>体育理論</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、状況に応じたパスやドリブル、シュートなどのボール操作と、チームで連携したプレイを使ってスペースに応じた攻防を展開する。 ・マット運動、バドミントンは2学期と同じ ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通してスポーツに関する能力を身に付ける。 							
評 価									
評価の観点		到達度目標「B」(おおむね満足できる)の基準]	評価のフィードバック						
			1期中	1期末	2期中	2期末	学年末		
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などについて理解している。 ・基本的な技能を身に付けている。 		○		○	○		
②	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに考えたことを他者に伝えている。 		○		○	○		
③	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・各種運動に積極的に取り組もうとしている。 ・演技などの話し合いに参加しようとしている。 ・仲間の学習を援助しようとしている。 		○		○	○		
評価方法	①		②			③			
	⑦学習カード ①観察 ⑦記録・実技テスト	⑦学習カード ①観察	⑦学習カード ①観察						

令和4年（2022年）度 年間授業計画表									
学年	1	科・系	商業科	単位	1	教科	保健体育	科目	保健
学習教材	<ul style="list-style-type: none"> ・現代高等保健体育（大修館書店） ・図説現代高等保健（大修館書店） 								
学習目標	<p>(1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深め、健康に関する技能を身に付けることができる。</p> <p>(2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養うことができる。</p> <p>(3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができる。</p>								
単元と内容									
1 学期	現代社会と健康	<p>現代社会と健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、以下に示した項目のそれぞれに対応する知識や考え方、技能などを身に付ける。また健康や安全に関する原則や概念に着目して課題解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。</p> <p>「健康の考え方と成り立ち」「私たちの健康のすがた」 「生活習慣病の予防と回復」「がんの原因と予防」「がんの治療と回復」「運動と健康」「食事と健康」「休養・睡眠と健康」</p>							
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 ・精神疾患の予防と回復 ・現代の感染症とその予防 ・健康に関する意思決定・行動選択 	<p>「喫煙と健康」「飲酒と健康」「薬物乱用と健康」</p> <p>「精神疾患の特徴」「精神疾患の予防」「精神疾患からの回復」 「現代の感染症」「感染症の予防」「性感染症・エイズとその予防」 「健康に関する意思決定・行動選択」「健康に関する環境づくり」</p>							
3 学期	安全な社会生活	<p>安全な社会生活について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、以下に示した項目のそれぞれに対応する知識や考え方、技能などを身に付ける。また健康や安全に関する原則や概念に着目して課題解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。</p> <p>「事故の現状と発生要因」「安全な社会の形成」「交通における安全」 「応急手当の意義とその基本」「日常的な応急手当」「心肺蘇生法」</p>							
評 価									
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の基準〕	評価のフィードバック						
			1期中	1期末	2期中	2期末	学年末		
①	知識・技能	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。	○	○	○	○	○		
②	思考・判断・表現	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	○	○	○	○	○		
③	主体的に学習に取り組む態度	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。		○		○	○		
評価方法	①		②			③			
	<ul style="list-style-type: none"> ㊦定期考査 ㊦ワークシート ㊦観察 ㊦実習での技能習得状況 		<ul style="list-style-type: none"> ㊦定期考査 ㊦ワークシート ㊦観察 			<ul style="list-style-type: none"> ㊦ノート点検 ㊦授業プリント等の提出状況 ㊦観察 ㊦実習などへの参加状況 			

令和4年(2022年)度 年間授業計画表										
学年	1	科・系	商業科	単位	2	教科	芸術	科目	音楽 I	
学習教材	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書「MOUSA1」教育芸術社 ・「Music Note 基礎から学ぶ高校音楽」啓隆社、「世界の歌声」教育芸術社 									
学習目標	(1) 音楽の多様性について理解を深め、創意工夫を生かした音楽表現に必要な技能を身に付け、表現活動に生かすことができる。 (2) 音楽を形づくっている要素とその働きについて考え、表現意図をもつとともに、音楽を評価しながらよさや美しさについて味わって聴くことができる。 (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の活動に取り組むとともに、感性を豊かにし、音楽を愛好する心情を養う。									
単元と内容										
1学期	正しい発声法を身に付けよう ボディー・パーカッションに挑戦しよう 歌曲に親しもう 楽器による表現上の効果を感じ取ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢や体の使い方、発声の仕組みについて理解を深め、歌唱に生かすことができる。曲想と歌詞の内容がどのようにかかわっているかを感じ取る。 校歌/Lemon/翼をください/負けないで ・ボディー・パーカッションを、音色を工夫しながら演奏する。イメージをもってアンサンブルに参加する。 ソルフェージュ/Plymouth Rock/Clap tap with Cups ・曲想と歌詞の内容や楽曲の背景がどのようにかかわっているかを感じ取る。歌と伴奏の役割を理解して独唱できる。 この道/花/野ばら/Caro mio ben ・楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲者及び演奏者による表現の特徴を理解する。楽器の音色の特徴と表現上の効果との関わりを感じ取る。 動物の謝肉祭/交響曲第9番/ピアノ第23番ほか 								
2学期	表現を工夫して合唱をしよう 和楽器に親しみ、音階を選んで旋律をつくろう ヴァイオリンに挑戦しよう 能や謡に親しもう	<ul style="list-style-type: none"> ・各パートの役割やハーモニーを意識して合唱の喜びを味わう。楽曲の特徴を理解し、曲にふさわしい表現方法を考える。 故郷/言わない/COSMOS ・和楽器の音色や奏法の特徴を理解して演奏する。音階の雰囲気を感じ取り、イメージにあった旋律を創作することができる。日本の伝統音楽の特徴と表現上の効果を感じ取り、批評したり感想を述べたりする。 太鼓/篠笛/三味線/箏から適宜選択 ・ヴァイオリンの構造と奏法の特徴を理解し、楽曲演奏に生かすことができる。 キラキラ星変奏曲 ・謡の発声や歌唱法について学習し、表現を工夫して謡う。能の特徴や文化的・歴史的背景を理解し、よさを味わう。 								
3学期	ミュージカルナンバーを歌おう ポピュラー音楽に親しもう 世界の諸民族の音楽に親しもう	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と歌詞の内容や楽曲背景とのかかわりを感じ取り、イメージをもち、楽曲にあった表現を工夫する。 Memory/美女と野獣 ・ジャズやロックを形づくっている要素及び奏法について理解する。主体的・積極的に演奏し、各パートの役割やハーモニーを意識してアンサンブルの喜びを味わう。 枯葉/Rock History ・国や地域の音楽の特徴、曲想と音楽を形づくっている要素とのかかわり、文化的・歴史的背景を理解して鑑賞する。音楽の多様性について理解を深める。 京畿道アリア/美しいエンター/世界の諸民族の音楽 								
評価										
評価の観点		到達度目標「B」(おおむね満足できる)の基準				評価のフィードバック				
						1期中	1期末	2期中	2期末	学年末
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。 				○	○	○		○
②	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。 					○	○	○	○
③	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 				○		○	○	○
評価方法	①		②			③				
	㊦ペーパーテスト		㊦発表			㊦授業態度				
	㊦実技試験		㊦ワークシート、ノート			㊦学習の取り組み状況(観察、聴取)				
㊦作品提出、ワークシート		㊦学習の取り組み状況(観察、聴取)			㊦ノート(自己評価)					

令和4年（2022年）度 年間授業計画表									
学年	1	科・系	商業科	単位	2	教科	芸術	科目	美術 I
学習教材	・教科書「高校生の美術 I」日本文教出版								
学習目標	(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。 (2) 造形的な良さや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。 (3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。								
単元と内容									
1 学期	「鉛筆一本で」 「立体的に描く」 「身近なものを描く」 「墨表現の可能性」 「きつとぎとの魚」	<ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆描写の基礎 ・三点透視図法・陰影 ・鉛筆デッサン（葉、煮干しなど） ・水墨画の技法演習 ・水墨画作品の鑑賞と模写 ・水墨画作品制作 							
2 学期	「美術館に行こう」 「好きな色いろいろ」 「和紙の可能性」 「プレゼンボードでPR」	<ul style="list-style-type: none"> ・美術館での作品鑑賞 ・三原色、トーンを理解と混色 ・和紙商品の開発 ・デザインの基礎 ・プレゼンボードの制作 							
3 学期	「油絵とは？日本画とは？」 「季節のイメージ」	<ul style="list-style-type: none"> ・油絵と日本画の鑑賞と画材について ・油絵作品の制作 ・友達の作品鑑賞 							
評 価									
評価の観点		到達度目標 [「B」(おおむね満足できる)の基準]					評価のフィードバック		
							1期末	2期末	学年末
①	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・色彩や構図や配色など造形の要素の働きや、それらを基に全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かしている。 ・表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。 					○	○	○
②	思考 判断 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・絵画表現では、感じ取ったことや考えたこと等から、主題を生成し、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 ・絵画作品の鑑賞では、造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫等について考え、見方や感じ方を深めている。 ・デザイン表現では目的や条件、美しさなどを考えて主題を生成し、機能や効果等について考え、創造的な表現の構想を練っている。 ・デザイン作品の鑑賞では、目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫等について考え、見方や感じ方を深めている。 					○	○	○
③	主体的に 学習に 取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・絵画表現の創造活動や、作品や美術文化の鑑賞の創造活動に、主体的に、試行錯誤や工夫を繰り返して、時間の限り粘り強く取り組もうとしている。 					○	○	○
評価 方法	①		②			③			
	⑦ワークシート ①レポート ⑦技法練習用紙 ⑤作品		⑦ワークシート ①レポート ⑦作品			⑦観察 ①振り返り用紙 ⑦レポート ⑤コメント用紙			

令和4年(2022年)度 年間授業計画表										
学年	1	科・系	商業科	単位	2	教科	芸術	科目	書道 I	
学習教材		・教科書「書 I」光村図書								
学習目標		(1) 書の表現方法や形式、多様性について、書の創造的活動を通して幅広く理解し、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づいて効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けることができる。 (2) 書の良さを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができる。 (3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養うことができる。								
単元と学習内容										
1 学 期	書へのいざない ・書写から書道へ ・用具、用材、表現方法 漢字の書の学習 ・書体の移り変わり ・楷書の古典に学ぼう ・行書の古典に学ぼう			<ul style="list-style-type: none"> ・書写と芸術科書道の違い ・筆、墨、紙、硯の種類 ・基本的な書道用語 ・漢字の五書体の変遷、仮名の誕生 ・楷書、行書の特徴と古典臨書 ・楷書、行書の、用筆法、運筆法、字形の取り方 ・楷書、行書の古典の観賞 						
	2 学 期	漢字の書の学習 ・隷書に親しもう ・篆書に親しもう ・篆刻を学ぼう 仮名の書の学習 ・仮名の成立 ・仮名の基本を学ぼう 仮名の基本線 平仮名と変体仮名 ・仮名の古典を学ぼう			<ul style="list-style-type: none"> ・隷書、篆書の特徴と古典臨書 ・隷書、篆書の用筆法、運筆法、字形の取り方 ・書道における篆刻の意義、制作方法 ・氏名印の制作と押印 ・仮名の成立と変遷、種類 ・用具、用材の使い方 ・仮名の書独特の筆使いと基本用筆 ・仮名の単体や連綿、全体構成 ・仮名の古筆臨書 ・仮名独特の流動美や紙面構成、表現 					
		3 学 期	漢字仮名交じりの書の学習 ・創作しよう			<ul style="list-style-type: none"> ・漢字や仮名の古典を生かした表現の工夫 ・文字と余白の関係、全体構成を考えた表現、著作権 ・創作作品の作成、鑑賞、発表 				
評 価										
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準〕				評価のフィードバック				
						1期中	1期末	2期中	2期末	学年末
①	知識・技能	・書の表現方法や形式、多様性を、書の創造的活動を通して幅広く理解し、書の伝統に基づいて効果的な技術を身に付けている。					○		○	○
②	思考・判断・表現	・書の良さや美しさを味わうとともに、意図に基づいた構想や表現の効果を理解し、書の伝統と文化の意味を考えて書の活動に生かしている。					○		○	○
③	主体的に学習に取り組む態度	・書の伝統と文化に親しみ、主体的に書の幅広い活動に取り組もうとしている。					○		○	○
評価方法	①			②			③			
	⑦提出作品 ④確認プリント ⑦臨書レポート ⑤観察			⑦臨書レポート ④提出作品 ⑦鑑賞カード ⑤観察			⑦制作カード ④臨書レポート ⑦鑑賞カード ⑤観察			

令和4年（2022年）度 年間授業計画表

学年	1	科・系	商業科	単位	4	教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅠ	
学習目標		(1) 文章や会話などを聞いたり読んだりして、情報や考えなどの要点を、支援を活用して捉えることができる。 (2) 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどを論理性に注意して話し合ったり伝えたりすることができる。 (3) 身近な話題について、論理性と時制に注意して、5文程度の英文を書くことができる。								
単元と内容										
1 学 期	Lesson 1 Enjoy your Journey!	<ul style="list-style-type: none"> 新生活での新たな目標の見つけ方を登山家のエピソードを交えながらどのように目標を設定し、達成するのかを学ぶ。 								
	Lesson 2 Curry Travel around the World	<ul style="list-style-type: none"> カレーの起源からどのように日本に来て、人気が出たのかを知り、今後のカレーの進化や未来のカレーについて学ぶ。 								
	Lesson 3 School Uniform	<ul style="list-style-type: none"> 世界の制服事情を知り、制服の是非を自ら考えて、原稿を作成し、発表する。 								
2 学 期	Lesson 4 Eco-Tour on Yakushima	<ul style="list-style-type: none"> ツアーガイドによるオリエンテーションという設定で、屋久島の名所の概略を事前学習する。 								
	Lesson 5 Bailey the Facility Dog	<ul style="list-style-type: none"> 病院で働くファシリティドッグとそのハンドラーが、病と闘う子供たちやその家族たちとのふれあいを通じて医学的効果を考える。 								
	Lesson 6 Communication without words	<ul style="list-style-type: none"> 世界の国々の言葉を用いないコミュニケーションを学び、ノンバーバルコミュニケーションの意味を考える。 								
3 学 期	Lesson 7 Dear World: Bana's War	<ul style="list-style-type: none"> 内戦の続くシリアの7歳の少女がSNSに発信した平和へのメッセージが世界にどのように広がり、影響を与えたのかを学び、SNSのもつ影響力を考える。 								
	Lesson 8 The Best Education Everyone, Everywhere	<ul style="list-style-type: none"> 社会起業家の思いと挑戦を学び、将来の職業観や人生の目標について考える。 								
評 価										
評価の観点		到達度目標「B」（おおむね満足できる）の基準				評価のフィードバック				
						1期中	1期末	2期中	2期末	学年末
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 文の構造や内容を理解することができる。 情報や考え、気持ちなどを適切に伝えることができる技能を身に付けている。 				○	○	○	○	○
②	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 文章の概要や要点を捉えることができる。 基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いたり、話したりして伝えることができる。 				○	○	○	○	○
③	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 文章の概要や要点を捉えようとしている。 クラスメイトにわかるように、題材についての情報や考え、気持ちなどを伝えようとしている。 					○		○	○
評価方法	①			②			③			
	ア 定期考査 イ 小テスト ウ 提出物			ア 定期考査 イ 授業プリント ウ 音読テスト			ア 授業での発表 イ 相互評価 ウ 提出物 エ ペアワークなどの参加状況			

令和4年(2022年)度 年間授業計画表

学年	1	科・系	商業科	単位	3	教科	商業	科目	ビジネス基礎
学習教材	・教科書「ビジネス基礎」実教出版 ・「ビジネス基礎 問題集」実教出版								
学習目標	(1) ビジネスに関する基礎的な知識・技術の習得と定着ができる (2) 経済社会の一員としての望ましい心構えと社会人としての基礎力を身につける (3) ビジネスの諸活動に対応する態度を身につけ、能力を高める								
単元と内容									
1 学 期	1章 商業の学習とビジネス ・いざ、ビジネスの世界へ ・私たちの社会とビジネス 2章 ビジネスとコミュニケーション ・コミュニケーション ・ビジネスマナー ・情報の入手と活用 3章 経済と流通の基礎 ・経済の仕組みとビジネス ・経済活動と流通	・商業を学ぶ目的を把握し、マーケティング・マネジメント・会計・ビジネス情報の4分野を学習することで、専門的能力を身につけることの重要性を知り、自ら考え、自ら学ぶことで、卒業後の進路について考える ・ビジネスの場面に応じた言葉の使い方など、基礎的なコミュニケーションを身につける ・ビジネスにおける基本的なマナー、良好な人間関係を築くことの重要性を把握し、身だしなみ、心づかい、挨拶、言葉遣いの基本的なビジネスマナーを身につける ・ビジネスにおける情報の活用を理解し、情報の信頼性を見極めることなど情報を入手する際の注意点を学ぶ ・土地、資本、労働力といった生産要素の希少性や経済主体・経済循環など経済活動の基礎を理解するとともに、経済活動における流通の意義や役割を知り、生産から消費までの役割分担の変化や小売業の業種・業態の変化について理解する							
2 学 期	4章 さまざまなビジネス ・ビジネスの種類 ・小売業 ・卸売業 ・物流業 ・金融業 ・情報通信業 5章 企業活動の基礎 ・ビジネスと企業 ・マーケティングの重要性 ・資金調達 ・財務諸表の役割 ・企業活動と税 ・雇用	・ビジネスには様々な種類があることを学ぶ ・小売業は、商品の販売のほかにも様々な役割があることや、多くの販売形態があることなどを学び、卸売業の基本的な役割を学習し、さらにその他の様々な役割がある事に関して理解する ・物流業には、輸送業者・倉庫業者がある事を知り、それぞれの具体的業務について学ぶ ・金融業の役割を理解し、その基本的な業務や仕組みについて学ぶ ・情報通信業の役割を学び、おもな担い手である通信業者と情報サービス業者に関して理解する 以上の役割を理解し、その中で求められる倫理観についても考える ・いろいろな企業形態について学び、その中の株式会社を中心に理解する ・資金調達の方法として、株式の発行や金融機関からの借入れなどがあることを学び、それぞれの特徴を理解する ・税の意味と法人税、住民税、事業税、固定資産税、消費税の概略を理解する ・わが国の雇用の特徴である終身雇用、年功序列、労働組合などについて学び、雇用の安定や福利厚生といった雇用に伴う企業の責任についても考える							
3 学 期	6章 ビジネスと売買取引 ・売買取引の手順 ・代金決済 7章 ビジネス計算 ・ビジネス計算の基礎 ・ビジネス計算の応用 8章 身近な地域のビジネス ・さまざまな地域の魅力と課題 ・地域ビジネスの動向	・売買契約の決め方や条件について学び、とくに各種書類について学ぶ ・通貨、小切手、手形、クレジットカード、電子マネーなどの代金決済の仕組みを理解する ・仕入原価、売価の計算や外国貨幣の換算などビジネスで必要な基礎的な計算について学ぶ ・度量衡の意味を理解し、単利や複利及び利息の計算について理解する ・さまざまな地域の現状を知り、それぞれの地域がこれからも存続するための課題の解決策や地域の活性化についての対策を考える							
評 価									
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の基準〕	評価のフィードバック						
			1期中	1期末	2期中	2期末	学年末		
①	知識・技能	ビジネスについて体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身につけている	○	○	○	○	○		
②	思考・判断・表現	ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として、合理的かつ創造的に解決する力を身につけている	○	○	○	○	○		
③	主体的に学習に取り組む態度	より良いビジネス社会の構築を目指し、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協同的に取り組む態度を身につけている		○		○	○		
評価方法	①		②			③			
	⑦定期考査 ⑧副教材 ⑨検定試験 ⑫グループワーク等	⑦定期考査 ⑧副教材 ⑨検定試験 ⑫グループワーク等	⑦定期考査 ⑧副教材 ⑨検定試験 ⑫グループワーク等						

令和4年(2022年)度 年間授業計画表									
学年	1	科・系	商業科	単位	3	教科	商業	科目	情報処理
学習教材	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書「ビジネス情報 新訂版」実教出版 ・「情報処理検定 模擬試験問題集3・2級」実教出版 ・「全商ビジネス文書実務検定模擬試験問題集3・2級」実教出版 								
学習目標	(1) ビジネスに関する情報を収集・処理・分析し、表現する知識と技術が習得できる (2) 情報の意義や役割について理解できる (3) ビジネス活動において情報を主体的に活用する態度を身につけ能力を高める								
単元と内容									
1 学 期	1章 企業活動と情報処理	<ul style="list-style-type: none"> ・情報処理の重要性 ・情報モラルと法規 ・コミュニケーションと情報デザイン 							
	2章 コンピュータシステムと情報通信ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な事例を基に情報とは何か、情報の意義と役割を理解する ・身近な事例から情報の価値、情報を正しく取り扱うことの大切さ、そのために必要な情報モラルの基本的な考え方や態度を身につける ・企業における適切な情報処理と関連する技術を理解する 							
	3章 情報の集計と分析	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータシステムの概要 ・情報通信ネットワークのしくみと構成 ・インターネットの活用 ・情報セキュリティの確保 ・基本的な操作や計算式及び関数、目的に応じて適切な表を作成する技術を身につける ・表計算ソフトウェアを利用した、目的に合ったグラフの作成方法を身につける 							
2 学 期	4章 ビジネス文書の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の整理・検索・抽出 ・問題の発見と解決の方法 ・目的に応じた利用しやすい形での大量データの活用、表計算ソフトのデータベース機能、整列や検索、抽出の技法を身につける ・基本的な社内文書や社外文書、作成に関する知識と技術を身につける ・ワープロの多様な機能を利用した、表やグラフなどを含む応用的な文書の作成に関する知識と技術を身につける 							
	5章 プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス活動におけるプレゼンテーションの意義、基礎的な技法を身につける ・目的や形態によるプレゼンテーション方法の違い、プレゼンテーションソフトウェアを活用した実習、資料の作成などの発表準備から発表までの一連の活動を理解する 							
評 価									
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の基準〕	評価のフィードバック						
			1期中	1期末	2期中	2期末	学年末		
①	知識・技能	企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている		○	○	○	○		
②	思考・判断・表現	企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている	○	○	○	○	○		
③	主体的に学習に取り組む態度	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業において情報を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組もうとしている	○	○	○	○	○		
評価方法	①		②			③			
	㊦ 定期考査 ㊧ 副教材・演習		㊦ 定期考査 ㊧ 副教材・演習 ㊨ 検定試験			㊦ 定期考査 ㊧ 副教材 ㊨ プレゼン演習 ㊩ 検定試験			

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史・世界史A	2 (商業科)	2	世界の歴史 (山川出版社)	アカデミア世界史(浜島書店) 富山県教育委員会「高校生のためのふるさと富山」
科目の概要と目標	近現代史を中心とする世界の歴史を、我が国の歴史と関連付けながら理解させ、人類の課題を多角的に考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養います。			
単元	学習内容		到達度目標	
世界史へのいざない 世界の諸文明	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境と歴史 ・東アジア世界Ⅰ、Ⅱ ・南アジア世界 ・西アジア世界Ⅱ (イスラーム教の誕生) ・ヨーロッパ世界Ⅰ、Ⅱ 		<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境が人々の住居や行動様式に影響を与え、歴史の流れの方向を定めることになった事に気付く。 ・東アジア・南アジア世界の特質(中央集権体制, 律令体制, カースト制など)を理解できる。 ・イスラーム世界の特質(イスラームの成立と特色, ネットワークの形成など)を理解できる。 ・ヨーロッパ世界の特質(キリスト教, 封建社会など)を理解できる。 	
世界の一体化の始まり 近代の世界	<ul style="list-style-type: none"> ・大航海時代とアメリカ征服 ・北前船の活躍(郷土史学習) ・ルネサンス・宗教改革 ・絶対王政と議会王政 ・啓蒙とアメリカ独立 ・フランス革命・産業革命 ・ナポレオンとその帝国 ・ウィーン体制と自由主義改革・1848年革命とギリシア・フランス・クリミア戦争とオーストリア・ロシア・イタリア統一とドイツ統一・アメリカ合衆国の発展・南アジア・東南アジアの植民地化 		<ul style="list-style-type: none"> ・16～18世紀にかけてのヨーロッパ世界の特質(新航路の開拓, 主権国家体制など)を理解できる。 ・18世紀後半から19世紀にかけてのヨーロッパとアメリカの諸革命と, 社会の産業化と国民国家の形成により近代が確立したことを理解できる。 ・19世紀後半のヨーロッパ, アメリカ社会を通して, 自由主義と国民主義が進展していく様子とアメリカ文明の内容について理解できる。 ・ムガル帝国の崩壊などを通して, 世界市場の形成を背景にしたヨーロッパ諸国のアジア進出とアジア諸国の状況など, 日本を含めたアジア諸国の動揺の様子を理解できる。 	
日本列島のなかの世界史 現代の始まりと帝国主義 二つの世界大戦	<ul style="list-style-type: none"> ・生糸をはこぶ山手線 ・東アジアの開港と変動 ・東アジアの近代化の試み ・帝国主義の国際対立 ・日露戦争と韓国併合 ・動き出した越中人、日露戦争と富山県(郷土史学習) ・辛亥革命・第一次世界大戦 ・重化学工業の興隆(郷土史学習)・ロシア革命 ・ヴェルサイユ体制とワシントン体制 ・東アジアの民族運動 ・世界恐慌 ・ファシズムの台頭 ・第二次世界大戦前夜の世界 ・満州事変と日中戦争 ・第二次世界大戦Ⅰ、Ⅱ 		<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカなどへの生糸輸出における国内鉄道網の発達をとりあげ日本の近代化と世界とのつながりに気付く ・アヘン戦争やアロー戦争などの過程を通して, ヨーロッパ諸国の東アジア進出と東アジア諸国の状況, 半植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折, その中での日本の対応など, 東アジアの大変動の様子を理解できる。 ・第一次世界大戦と総力戦としての様相, ロシア革命とソヴィエト連邦の成立, 戦争と革命による国際秩序の変化, アメリカの大衆生活とその波及を通して, 20世紀初頭の変化の様相を理解できる。 ・世界恐慌が国際秩序に危機をもたらした新たな対立を生んだことを理解できる。 ・アジア諸国の民族運動の高揚に着目し, 国際社会の枠組みの変化を理解できる。 	
平和と冷戦 現代世界と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・冷戦の開始 ・冷戦の激化と核戦争の危機 ・米ソの動揺と多極化する世界 ・冷戦の終結 ・情報社会 ・資源、食料、環境問題 		<ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦後の世界を, 核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える問題と関連付けて考察できる。 ・冷戦終結後の世界で起こった地域紛争の原因や歴史的背景を追究し, 国際社会の変化や国民国家の課題などについて考察できる。 ・現代世界の特質や課題に対する適切な主題を設定させ, 歴史的観点から資料を活用して探究し, 討論などの活動を通して世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について展望できる。 	

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
数学・数学 I	2 (商業科)	1	新版数学 I 新訂版 (実教出版)	アクセスノート数学 I 改訂版 (実教出版)
科目の概要 と目標	「図形と計量」、「集合と命題」及び「データの分析」について学習します。習得した知識や習熟した技能を的確に活用することを通して、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを活用していこうとする態度を育成します。			
単元	学習内容		到達度目標	
第3章 図形と計量	<ol style="list-style-type: none"> 1. 三角比 2. 三角比の性質 3. 三角比の拡張 4. 正弦定理 5. 余弦定理 6. 三角形の面積 7. 空間図形の計量 		<ul style="list-style-type: none"> ・直角三角形の辺の長さの比と角の大きさの関係から、鋭角の三角比と相互関係について理解する。 ・鈍角の三角比の値を求めることができる。 ・正弦定理、余弦定理、面積の公式を利用して、辺や角の計量、求積ができるようにする。 ・相似な図形の面積比、体積比について理解する。 ・空間図形の計量として、正四面体の体積、球の体積と表面積を求められるようにする。 	
第4章 集合と論証	<ol style="list-style-type: none"> 1. 集合 2. 命題と条件 3. 逆・裏・対偶 		<ul style="list-style-type: none"> ・集合と命題に関する基本的な考え方を理解する。 ・命題とその真偽について学び、反例の考え方や、必要条件、十分条件の意味を理解する。 ・逆、裏、対偶とそれらの相互関係について理解する。 	
第5章 データの分析	<ol style="list-style-type: none"> 1. データの整理 2. 代表値 3. 四分位数と四分位範囲 4. 分散と標準偏差 5. 相関関係 		<ul style="list-style-type: none"> ・平均値、中央値、最頻値の意味と計算方法を理解する。 ・相関係数の意味を理解し、それを利用してデータの相関を的確にとらえ説明できるようにする。 	
課題学習	<ul style="list-style-type: none"> ・黄金比 ・絶対値記号を含む関数のグラフと方程式 ・仮平均 		<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの内容との関連を踏まえ、適宜自分の考えを発表したり議論したりするなどの活動をする。 	

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
理科 生物基礎	2 (商業科)	2	生物基礎 (数研出版)	リード Light ノート生物基礎 (数研出版)
科目の概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・代謝、遺伝子、恒常性、免疫、生態系といった生物の基礎的な内容を学習します。 ・生物の多様性の法則に基づきながら共通性を見いだしていきます。 ・観察・実験を通して探究する能力を身につけます。 			
単元	学習内容	到達度目標		
1 生物の特徴	①生物の多様性と共通性 【観察】 原核生物と真核生物 ②エネルギーと代謝 【実験】 酵素の性質 ③光合成と呼吸 【実験】 光合成色素の分離	<ul style="list-style-type: none"> ・生物は起源生物から共通性を保ちながら進化し、多様性が生じたことについて学ぶ。 ・身のまわりの細胞を光学顕微鏡で観察する。 ・多くの生物の細胞には核が含まれているが、核がない生物も身近にいることを知る。 ・エネルギーと代謝とATPの構造と役割について学ぶ。 ・呼吸と光合成のしくみと、酵素反応の関わりについて学ぶ。 ・ミトコンドリアと葉緑体はそれぞれ好気性細菌とシアノバクテリアが起源であることを学ぶ。 		
2 遺伝子とのはたらき	①遺伝情報とDNA 【観察】 DNAの抽出 ②遺伝情報の発現 【観察】 パフの観察 ③遺伝情報質の分配 【観察】 体細胞分裂	<ul style="list-style-type: none"> ・DNA は二重らせん構造であり、含まれる塩基には相補性があることを学ぶ。 ・遺伝子の本体やDNAの構造が解明された経緯を理解する。 ・転写・翻訳を通して、遺伝情報がタンパク質の合成という形で現れる過程を理解する。 ・生命現象に関わるタンパク質について学ぶ。 ・DNA が複製され分配されるしくみについて理解する。 ・だ腺染色体のパフを光学顕微鏡で観察し、細胞では必要な遺伝子のみが発現することについて理解する。 ・ゲノムとは、生物が生命活動を営むのに必要な遺伝情報であることを理解する。 ・細胞周期の各時間と観察される数との関係について実験を行い考察する。 		
3 生物の体内環境	①体液という体内環境 【実験】 細胞膜の性質 ②腎臓と肝臓 ③神経とホルモンによる調節 【観察】 心拍数の変化 ④免疫 【観察】 血液	<ul style="list-style-type: none"> ・体内環境を保つ上で、体液の成分や濃度が重要な役割を果たしていることを理解する。 ・血液の組成やのはたらき (物質の運搬・食作用・血液凝固など) について学ぶ。 ・腎臓と肝臓の構造とはたらきについて学ぶ。 ・自律神経とホルモンによる体内環境の調節のしくみを学ぶ。 ・血糖濃度の調節と疾患について学ぶ。 ・免疫のしくみとそれに関わる細胞について学ぶ。 ・免疫に異常が生じた場合について学ぶ。 		
4 生物の多様性と生態系	①植生の多様性と分布 【観察】 校庭の植物 ②生態系とその保全 【観察】 水質浄化	<ul style="list-style-type: none"> ・植生の遷移は光や土壌などの変化が関係することを理解する。 ・生態系は生物と非生物的環境からなり、生物の環境形成作用により非生物的環境が変化することを学ぶ。 ・気温と降水量の違いにより様々なバイオームが成立する過程を知る。 ・日本の各地域や自分の住む地域のバイオームについて学ぶ。 ・生態系におけるエネルギーの流れと炭素や窒素などの物質の循環のしくみについて理解する。 ・人間の活動と生態系の保全についての様々な問題について考える。 		

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
保健体育・体育	2年 (商業科)	3	最新高等保健体育改訂版 (大修館書店)	図説最新高等保健改訂版(大修館書店)、2021 保健体育簿(富山県高体連)
科目の概要と目標	<p>①各運動の特性に触れ、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、生涯を通じて継続的に運動が実践できる資質や態度を育てる。</p> <p>②各種の運動の合理的な実践を通して運動の技能を高め、体力の向上を図る。</p> <p>③自ら進んで運動するとともに公正、協力、責任や、健康・安全に留意する態度を身に付ける。</p> <p>④班毎の目標や個人の課題が達成されるように練習を組み立て実行できるようになる。</p>			
単元	学習内容	到達度目標		
体づくり運動 スポーツテスト 選択 ①球技 ②球技 選択 ①球技 ②球技 選択 ①球技 ②球技	<ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐし運動 ・記録の測定 ・ソフトボール ・ソフトテニス ・ソフトテニス ・ソフトボール ・フットサル ・フレッシュテニス 	<ul style="list-style-type: none"> ・身体のかな部位を動かすことで心地よさや楽しさを味わうとともに、仲間との交流を深めることができる。 ・スポーツテストを通じて現在の自分の体力レベルや体格を知り、今後の体育活動に生かせるようにする。 ・状況に応じたバットの操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防を展開することができる。 ・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開することができる。 ・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開することができる。 ・状況に応じたバットの操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防を展開することができる。 ・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって攻防を展開することができる。 ・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開することができる。 		
体づくり運動 選択 ①陸上 ②陸上 球技とダンス 器械運動とダンス 球技とダンス 選択 ①球技 ②球技	<ul style="list-style-type: none"> ・体力を高める運動 ・ハードル走 ・リレー 男子：サッカー 女子：創作ダンス 男子：マット運動 女子：創作ダンス 男子：卓球 女子：創作ダンス ・Tボール ・ソフトバレーボール 	<ul style="list-style-type: none"> ・体力を高めるための運動の計画と実践を行うことができる。 ・スピードを維持した走りからハードルを短くリズムカルに越すことができる。 ・中間走の高いスピードを維持して速く走り、スムーズなバトンパスをすることができる。 ・安定したボール操作と空間を作り出すなどの連携した動きによってコートや空いた場所をめぐる攻防が展開できる。 ・テーマにふさわしいイメージをとらえ、個や群で緩急強弱のある動きや空間の使い方に変化をつけて即興的に表現できる。 ・転回系や巧技系の基本的な技をなめらかに安定して行い、条件を変えた技、発展技をなめらかに行う。それらを構成し演技できるようにする。 ・テーマにふさわしいイメージをとらえ、個や群で緩急強弱のある動きや空間の使い方に変化をつけて即興的に表現できる。 ・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きにより、適切な攻防を展開することができる。 ・表現したいテーマにふさわしいイメージをとらえ、作品をまとめて発表することができる。 ・状況に応じたバットの操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防を展開することができる。 ・役割に応じたボールの操作と連携した動きによって相手コートや空いた場所をめぐる攻防を展開することができる。 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解する。 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解する。 ・役割に応じたボールの操作と連携した動きによって相手コートや空いた場所をめぐる攻防を展開することができる。 ・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きにより、適切な攻防を展開することができる。 ・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きにより、適切な攻防を展開することができる。 ・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きにより、適切な攻防を展開することができる。 		
体育理論 体育理論 選択 ①球技 ②球技 選択 ①球技 ②球技	<ul style="list-style-type: none"> 運動スポーツの学び方 運動スポーツの学び方 ・バスケットボール ・卓球 ・卓球 ・バドミントン 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解する。 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解する。 ・役割に応じたボールの操作と連携した動きによって相手コートや空いた場所をめぐる攻防を展開することができる。 ・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きにより、適切な攻防を展開することができる。 ・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きにより、適切な攻防を展開することができる。 ・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きにより、適切な攻防を展開することができる。 		

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
保健体育・保健	2年 (商業科)	1	最新高等保健体育改訂版 (大修館書店)	図説最新高等保健改訂版 (大修館書店)
科目の概要 と目標	<p>①個人生活及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を身に付ける。</p> <p>②生涯の各段階において健康についての課題があり、自らこれに適切に対応する必要があること及び我が国の保健・医療制度や施設を適切に活用することの重要性を理解する。</p> <p>③社会生活における健康の保持増進には、環境などが深くかかわっていることから、環境と健康、環境と食品の保健、労働と健康について理解する。</p>			
単元	学習内容	到達度目標		
生涯を通じる健康	1 思春期と健康	・ 思春期における心理面、行動面の変化に対応して異性を尊重し、性に関して適切な意志決定や行動選択が必要であることを理解できる。		
	2 性への関心・欲求と性行動	・ 男女における性意識の違いから性的欲求のあらわれ方の違いや、性に関する情報が性行動の選択に及ぼす影響について例をあげ説明できる。		
	3 妊娠・出産と健康	・ 受精・妊娠・出産の過程を学習し、出産期の健康のために留意すべき点を挙げるができる。		
	4 避妊法と人工妊娠中絶	・ 家族計画の意義と人工妊娠中絶が女性の心身に及ぼす影響について理解できる。		
	5 結婚生活と健康	・ 健康な結婚生活を営むための留意点を、心身の発達の観点から説明できる。		
	6 中高年期と健康	・ 加齢にともなう心身の変化と健やかに過ごすための留意点や、高齢者の生活と健康に関する現状を学び、高齢社会に対応した保健制度などについて理解できる。		
生涯を通じる健康	7 医薬品とその活用	・ 医薬品の正しい使用法や安全性を守る取り組みについて説明できる。		
	8 医療サービスとその活用	・ さまざまな医療機関の役割や、サービスを受けるときの留意点を挙げるができる。		
	9 保健サービスとその活用	・ 保健行政の役割としくみについて説明できる。		
	10 さまざまな保健活動や対策	・ 民間機関・国際機関などの保健活動や対策について例を挙げて説明できる。		
社会生活と健康	1 大気汚染と健康	・ 大気汚染について理解し、健康にどのような影響があるかを、例を挙げて説明できる。		
	2 水質汚濁、土壌汚染と健康	・ 水質汚濁や土壌汚染について理解し、健康にどのような影響があるかを、例を挙げて説明できる。		
	3 環境汚染を防ぐ取り組み	・ 環境汚染の特徴について学び、環境汚染を防ぐためのさまざまな取り組みを理解できる。		
	4 ごみの処理と上下水道の整備	・ 廃棄物処理の現状を知り、処理過程や上下水道の整備についての問題点や対策を具体的に挙げて説明できる。		
社会生活と健康	5 食品の安全を守る活動	・ 食品の衛生管理のために、行政及び製造・生産者が行う対策を具体的に挙げるができる。		
	6 働くことと健康	・ 食品の安全性を確保するために、自分たち自身ができる対策について例を挙げるができる。		
	7 働く人の健康づくり	<p>・ 働くことと健康が相互に影響していることを理解できる。</p> <p>・ 労働災害の防止対策として、職場と個人がおこなうべき事柄について挙げるができる。</p> <p>・ 職場の健康増進対策について説明できる。</p> <p>・ 余暇の大切さと活用の仕方について説明できる。</p>		

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
家庭・家庭総合	2 (商業科)	2	家庭総合 (東京書籍)	家庭総合学習ノート(東京書籍) 「生活ハンドブック 資料&成分表」(第一学習社)
科目の概要と目標	<p>1. 人の一生における人間の健全な発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解を深める。</p> <p>2. 生活に必要な知識と技術を習得するとともに、男女が協力して家庭や地域の生活課題を主体的に解決する能力を身に付け、生活の充実向上を図り創造する能力と実践的な態度を育てる。</p>			
単元	学習内容	到達度目標		
第1章 自分らしい人生をつくる	<p>①生涯発達の視点</p> <p>②青年期の課題</p> <p>③目標を持って生きる</p> <p>④人生をつくる</p> <p>⑤家族・家庭を見つめる</p> <p>⑥これからの家庭生活と社会</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各ライフステージの特徴と課題を理解する。 生涯発達の視点で青年期の自分を客観的に見つめ、職業選択への見通しや男女の社会的役割を理解する。 家庭や地域の生活を創造するために、様々な生活課題に対応して適切に意思決定することができる。 固定的な性別役割分業意識を見直し、多様なライフスタイルのもと、男女が協力して家庭を築き生活を営むことの重要性を考える。 家族の機能と家族関係、家族・家庭と法律、家庭生活と福祉などについて理解し、家族・家庭の意義や家庭と社会とのかかわりについて考える。 家事労働、職業労働について知り、ワーク・ライフ・バランスについて考える。 		
第2章 子どもと共に育つ	<p>①子どもの育つ力を知る</p> <p>②親として共に育つ</p> <p>③子どもとの触れ合いから学ぶ</p> <p>④これからの保育環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児の実際の姿に触れる機会をもち、保育に関心を持つ。 子どもの発育や発達には、個人差はあるが一定の順序と共通性があることを理解する。 親の働きかけの重要性と子育て支援を理解する。 子どもが基本的、社会的な生活習慣を身に付けられるよう、さまざまな援助を理解する。 子どもの権利と福祉を学び、社会的支援を考える。 		
生活に生かそう	ホームプロジェクトの実践 学校家庭クラブ活動	<ul style="list-style-type: none"> 生活の中から課題を見つけ、課題解決に向けて計画を立て主体的に実践し、学校生活や地域に目を向け活動を広げる。 		
第6章 食生活をつくる	<p>①食生活の課題について考える</p> <p>②食事と栄養・食品</p> <p>③食生活の安全と衛生</p> <p>④生涯の健康を見通した食事計画</p> <p>⑤調理の基礎</p> <p>⑥これからの食生活</p>	<ul style="list-style-type: none"> 青年期の食事の重要性を理解し、各ライフステージの栄養的特徴を知る。 食事摂取量や食品群別摂取量の目安を活用し、献立を考えることができる。 実習等を通して食生活の安全や衛生を理解し、食品の鑑別、保存、管理などができるようにする。 日常的な食品の栄養的特質や調理上の性質について科学的に理解する。 基本的な調理技術を学び、日常食を作れるようになる。 行事食や郷土食等に関心を持ち、環境に配慮した食生活の在り方を考える。 		
第5章 経済生活を営む	<p>①職業生活を設計する</p> <p>②計画的に使う</p> <p>③国民経済・国際経済と家庭の経済生活</p> <p>④現代の消費社会</p> <p>⑤消費者の権利と責任</p> <p>⑥これからの消費生活と環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> 経済的自立と職業について考える。 家計管理の重要性とライフステージごとの経済計画とリスク管理のポイントを知る。 国際化、複雑化している経済社会と家計の関係を理解する。 キャッシュレス社会の利便性と問題点を理解する。 消費者の意思決定における過程で、金銭や時間、資源などの活用と関わらせながら考える。特に生活情報を収集し、適切に判断し活用できるようになる。 現代の消費者問題を理解し、消費者として適切に判断できるようになる。 消費者の権利と責任を自覚して行動できるようにし、契約の重要性や消費者保護の仕組みについて理解する。 環境問題と消費行動の関わりについて理解し、持続可能な社会を目指したライフスタイルについて工夫する。 		

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史・日本史A	3 (商業科)	2	高校日本史A 新訂版(実教出版)	図説日本史通覧(帝国書院)
科目の概要 と目標	①開国以後、明治維新を経て近代国家としての日本が急速に形成された過程を、国際環境と関連づけて理解します。 ②史料・図版を見ながら幅広い知識を身につけるとともに、今後の国際社会における日本の役割や、課題について考察します。			
単元	学習内容		到達度目標	
近代への変換 大日本帝国の形成 大日本帝国の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・ 異国船の接近と幕藩体制の動揺・蘭学と国学の普及 ・ 開国と社会の変動 ・ 尊皇攘夷から討幕へ ・ 明治維新と新政府の成立 ・ 文明開化と復古 ・ 地租改正と富国強兵 ・ アジア外交と国境問題 ・ 民権思想と国会開設運動 ・ 私擬憲法と政党の結成 ・ 松方財政と民権運動の激化 ・ 大日本帝国憲法の制定 ・ 条約改正と立憲政友会の結成・朝鮮政変と日清戦争 ・ 日清戦争後の東アジア 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 欧米列強の帝国主義的政策で、他のアジア諸国が植民地化されていた中、日本は様々な課題を内包しながらも、近代国家として国際社会に加わっていった過程について理解できる。 ・ 西洋思想の流入にともない、知識層を中心に自由民権運動が展開され、政府との対立、融和を繰り返しながら、国民の間に広まったことを理解できる。 ・ 松方財政による急激なデフレ政策が、自由民権運動を変質させた一方で、資本主義経済の基礎を作ったことを理解できる。 ・ 不平等条約の改正が最重要課題となる中、法典の整備や富国強兵政策をとおして次第に中央集権体制が確立されていたことを理解できる。 	
両世界対戦間の世界と日本 十五年戦争と日本・アジア	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日露戦争と朝鮮 ・ 朝鮮の植民地化 ・ 資本主義と寄生地主制 ・ 社会問題の発生 ・ 欧米文化と伝統文化の交錯 ・ 大正デモクラシー ・ 第1次世界大戦 ・ 日本資本主義の成長 ・ 米騒動と社会運動 ・ 普通選挙法と治安維持法 ・ 満州事変と「満州国」 ・ 日中戦争 ・ 第2次世界大戦と日本 ・ アジア太平洋戦争 ・ 日本の敗戦 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本が近代資本主義国家として成長していった過程を、日清・日露戦争、産業革命の進展と関連づけて考察できる。 ・ 国際社会において、大国の一員として重要な役割を担うことになった日本が、新たな世界秩序の構築にいかに関与し、参加していったかを考察できる。 ・ 明治憲法の民主的な運用の中で、大正デモクラシーが起こり、かつ文化、芸能が大衆に受け入れられていったことを理解できる。 ・ 日本が戦争に突入していった経緯について、世界恐慌時の各国の対応や、昭和恐慌、その後の外交関係などと関連づけて考察できる。 	
戦後改革と高度経済成長 現代の世界と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・ 戦後世界と日本 ・ 戦後復興と再軍備 ・ サンフランシスコ平和条約 ・ 日米新安保条約 ・ 高度経済成長と公害 ・ ヴェトナム戦争と沖縄 ・ 低成長への転換 ・ 経済大国と国民生活 ・ 世界の変動と国際関係 ・ 湾岸戦争後の世界と日本 ・ バブル崩壊と政界再編 		<ul style="list-style-type: none"> ・ GHQの占領下で、政治・経済の諸制度がどのように改められていったかを理解できる。 ・ 冷戦下における東側諸国の勢力伸長にともない、米国の占領政策に大きな転換が生じ、それが日本の経済復興に繋がっていったことを理解できる。 ・ 日本が経済大国となり、国際的地位を高めるとともに、冷戦終結によりさらに混迷が深まる国際社会において、日本に求められる役割について考察できる。 	

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史 地理A	3 (商業科)	2	地理A (東京書籍) 新詳高等地図帳 初訂版 (帝国書院)	世界の諸地域NOW (帝国書院)
科目の概要 と目標	① 地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を身につけます。 ② 地図 (地形図を含む)、統計、景観写真などから、様々な地理的事象を読みとる力を身につけます。 ③ 中学校までの学習で扱わなかった地域を中心に、世界の諸地域の生活・文化について認識を深めていきます。			
単元	学習内容		到達度目標	
第I編 現代世界の特色	第1章 地球規模でとらえる現代世界 第1節 球面上の世界 第2節 結びつく現代世界 通信、交通、国家間の結びつき 第2章 身近な地域からとらえる現代世界 第2節 身近な地域の国際化 *地形図を読む		・地球儀を使って、緯度、経度、時差の計算などができる。 ・様々な図法の世界地図や新しい地図について理解を深める。 ・航空交通網、貿易の輸出入品目などを調べることで、世界の結びつきを理解できる。 ・データを主題図に表現したり、読みとりができる。	
第II編 世界の諸地域の生活・文化と環境	第1章 人びとを取りまく環境 第1節 人びとを取りまく地形 第2節 人びとを取りまく気候 第3節 人びとを取りまく産業 第4節 人びとを取りまく文化 第2章 世界の諸地域の生活・文化 第1節 東南アジア 第2節 南アジア 第3節 西アジア・中央アジア 第4節 アフリカ 第5節 ヨーロッパ 第7節 ラテンアメリカ 第8節 オセアニア 第3章 近隣諸国の生活・文化と日本 第1節 中国の生活・文化と日本		・地形図の読みとりができる。 ・身近な地域の地形図の読み取りから、防災について考える。 ・世界の大地形の様子について考察する。 ・日本の地帯構造は地震や火山による被害が起きやすいということを過去の災害を例に考える。 ・世界や日本の身近な地形 (小地形) について理解できる。 ・世界にはどのような気候区があるのかを理解できる。 ・世界の農業にはどのような方法があるのかをとらえ、考察する。 ・世界の宗教や言語の分布を地図上で確認できる。 ・世界の諸地域の特徴を、産業、宗教、民族などをおして理解できる。 ・東南アジアの宗教や経済発展について理解を深める。 ・南アジアの産業と宗教について理解を深める。 ・西、中央アジアに共通する、気候、資源、宗教を中心に地域性を考察する。 ・アフリカの1つの地域としての地域性を考察する。 ・ヨーロッパ各国の独自性と共通性について考察する。 ・ラテンアメリカの地域性を背景に、様々な生活・文化が存在することを考察する。 ・オセアニアの地域性を様々な観点で考察する。	
第III編 地球的課題	第1章 地球的課題とわたしたち 第1節 人口問題 第2節 食料問題 第3節 居住・都市問題 第4節 資源・エネルギー問題 第5節 地球環境問題 第2章 近隣諸国の地球的課題と国際協力 第1節 東アジアでの砂漠化と国際協力 第2節 東南アジアのマングローブ保全と国際協力		・経済発展のめざましい中国の特徴を、自然、産業、人々の交流などの視点から考察する。 ・人口問題など地球的諸課題について、現状と要因を理解し、今後の対策について考察する。 ・世界の砂漠化の学習を通して、砂漠化の要因と砂漠化防止の取り組みについて考察する。 ・マングローブの開発と保全の学習を通して、今後の修復と保全について考察する。	

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
保健体育・体育	3年 (商業科)	2	最新高等保健体育改訂版 (大修館書店)	図説最新高等保健改訂版(大修館書店)、2020 保健体育簿(富山県高体連)
科目の概要と目標	<p>①選択した運動種目の合理的な計画や実践を通して、生徒一人一人が運動の楽しさや喜びを味わえるようになる。</p> <p>②自己の能力・適性・興味・関心等に応じて運動を行い、楽しめるよう、計画し工夫する力を身に付ける。</p> <p>③生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を身に付ける。</p>			
単元	学習内容	到達度目標		
体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・多彩で手軽な運動や律動的な運動を通じて、動くことそのものの楽しさを体験し、心と体が一体となるような運動を行うことができる。 ・各種の運動を合理的に行い、さまざまなトレーニングによって体力を高める運動を行う。 		
スポーツテスト	<ul style="list-style-type: none"> ・記録の測定 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の体力・能力を把握する。 		
ダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・フォークダンス 	<ul style="list-style-type: none"> ・オクラホマミクサー、コロブチカを楽しく踊ることができる。 		
選択制球技①	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボール ・バレーボール ・バスケットボール 	<ul style="list-style-type: none"> ・種目選択アンケートを行い、運動種目を選択し、その種目を通しての「なりたい自分」を持つ。 ・種目ごとの仮のグループ編成で試しのゲームを行う。 ・試しのゲームから今後の見通しを持つ。 ・学習を進めるにあたり、集団としての「目指す姿」について話し合い、考える。 ・「目指す姿」に近づけるための「運動の行い方」(プレースタイル)を話し合い、考える。 ・各チームで役割分担を決める。 ・チームのプレースタイルから今後の「学習計画」を立てる。 ・「学習計画」に従って活動を進める。 ・活動の結果を評価し、学習計画の見直しを図る。 ・「なりたい自分」になってきたかどうか評価する。 		
選択制球技②	<ul style="list-style-type: none"> ソフトテニス ・バドミントン ・卓球 	<ul style="list-style-type: none"> ・選択制球技①と同じ。 ・3種目とダブルスのゲームを展開することができる。 		
体育理論	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かなスポーツライフの設計 	<ul style="list-style-type: none"> ・自由時間活用の観点からスポーツ活動の重要性を理解し、各ライフステージのスポーツ活動の特徴を挙げることができる。 ・豊かなスポーツライフの実現とその設計について理解する。 ・国や地方自治体のスポーツ振興施策を理解し、総合型クラブについて説明できる。 ・スポーツが引き起こす環境問題と環境保護について理解する。 		

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
家庭・ 家庭総合	3 (商業科)	2	家庭総合 (東京書籍)	家庭総合学習ノート(東京書籍) 「生活ハンドブック資料&成分表」(第一学習社)
科目の概要 と目標	<p>1. 人の一生における人間の健全な発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解を深める。</p> <p>2. 生活に必要な知識と技術を習得するとともに、男女が協力して家庭や地域の生活課題を主体的に解決する能力を身に付け、生活の充実向上を図り創造する能力と実践的な態度を育てる。</p>			
単元	学習内容	到達度目標		
第7章 衣生活をつくる	<p>①被服の役割を考える</p> <p>②被服を入手する</p> <p>③被服を管理する</p> <p>④これからの衣生活</p> <p>⑤布を用いた生活の知恵</p> <p>被服製作実習</p>	<ul style="list-style-type: none"> 被服の機能と着装、被服材料、被服管理について理解する。 着用目的に応じて快適な着装ができる。 洗剤の働き、洗濯方法、保管方法について理解する。 保有する被服の有効な活用や計画的な入手ができる。 健康と安全、環境保全に配慮した衣生活の必要性を学ぶ。 平面や立体構成などの特徴や着装の特徴を理解する。 布を使った伝統的な生活の工夫と活用法を考える。 被服製作実習を通して、基本的な縫製技能を身に付けるとともに、製作意欲の持続と完成の達成感につなげる。 		
第8章 住生活をつくる	<p>①住生活について考える</p> <p>②住生活の計画と選択</p> <p>③これからの住生活</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各ライフステージに応じた住居、人間と住居とのかかわりについて考える。 快適に暮らせる室内環境や安全な住まい方を理解する。 平面図等を活用して、よりよい住空間や住生活を考える。 気候や風土に応じた住居の特徴や様々な住様式を知り、住生活の文化を考える。 環境や福祉の視点から住居の在り方を考え、家族の住生活を健康で快適に営むことができるようにする。 居住環境と住環境を理解し、よりよい住環境を考える。 		
第3章 高齢社会を 生きる	<p>①高齢期を理解する。</p> <p>②高齢者の心身の特徴</p> <p>③高齢者を支える</p> <p>④これからの高齢社会</p>	<ul style="list-style-type: none"> 高齢社会の現状と課題を理解する。 生涯を見通して高齢期を捉え、高齢者の身体的・心理的特徴について理解する。個人差が大きいことを理解する。 高齢者疑似体験や視聴覚教材で体験的に理解を深める。 物忘れと認知症の違いや認知症への対応方法を知る。 高齢者福祉の基本的な理念やサービスにふれ、今後の解決すべき課題について理解する。 ボディメカニクス原則や高齢者の心身の状態に応じて介助の方法が異なることにふれ、生活支援に関する基礎的な技能を身に付けることができる。 介護保険制度や地域包括ケアなどを通して、高齢者を取り巻く社会の課題について考えることができる。 社会全体で高齢者を支える仕組みについて考察する。 		
第4章 共に生き、 共に支える	<p>①私たちの生活と福祉</p> <p>②社会保障の考え方</p> <p>③共に生きる</p>	<ul style="list-style-type: none"> 多様な人々のニーズ、ノーマライゼーションの理念を理解し、ユニバーサルデザインを具体的に考える。 家庭と地域との関わりを理解し、高齢者や障害のある人など様々な人々が共に支え合って生きることの重要性を認識し、その一員として主体的に行動することの意義を考える。 自助、共助、公助の重要性を理解することができる。 		
第9章 生活を設計する	生涯を見通す	<ul style="list-style-type: none"> キャリアを具体化し、各ライフステージの長期的・短期的な目標を立てる。 社会保障制度や社会福祉と各ライフステージの課題と関連付けて理解する。 家庭生活、健康、家計のマネジメントを考え、これからの社会を創造する担い手としての責務を考える。 		
生活に生かそう	学校家庭クラブ活動	<ul style="list-style-type: none"> 生活の中から課題を見つけ、課題解決に向けて計画を立て主体的に実践し、学校生活や地域にも目を向け活動を広げる。 		

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
商業 課題研究	3 (商業科)	3	なし	なし
科目の概要 と目標	① 職業資格の取得を通じて進路の実現を目指します ② 地域と接点を持ちながら実践的な知識を習得します ③ 経済社会における興味ある事柄や問題について、生徒自らが調査研究し発表します			
単元	学習内容	到達度目標		
オリエンテーション	・学習意義、目的、評価	・学習の意義を知り、自らの課題(目的)、評価について理解できる		
職業資格に関する学習	・検定取得について	・進路実現に向けて検定の目標課題を設定し、学習に取り組むことができる		
調査研究に関する学習	・調査研究について	・市場の動向、消費者の行動、地域産業の振興に関する内容を主とした調査や研究に向けて、情報収集を行うことができる		
クラス内報告	・調査研究について	・中間報告書を作成し、まとめることができる		
調査研究 報告書作成	・調査研究について	・調査研究対象の問題や疑問点を深め、情報収集を行うことができる ・個人又はグループで調査研究内容をまとめ、プレゼンテーション資料を作成することができる		
校内発表会 準備	・個人又はグループ別に研究成果をまとめる	・効果的な発表方法を理解し、実行することができる		
校内発表会	・本校商業科生徒への研究発表会	・研究の成果についての効果的な発表ができる		